

OASIS の風

ナーシングホーム OASIS 天白野並

-hear your heart-



R6年



入居者様の声

T・T 様：50 代男性：多系統萎縮症

ナーシングホーム OASIS 天白野並入居中：発語・フィンガーボード
ファインチャット（体験）

日内変動があり、発声もしくは文字盤を使用。手の振えがあり伝えづらくなってしまったため、新たにフィンガーボードと、ファインチャットを体験していただくことになりました。

【Q&A】

Q1.フィンガーボードを使用してみているいかがですか？ A.文字盤に比べて穴が開いているので使いやすい

Q2.ファインチャットを使用されてみていかがですか？

A.使いこなせそう。初めて体験されるが機械に抵抗がないためかずっと操作し続けてみえる。

最初からフィンガースイッチでタイミングよく使いこなしてみえる。

Q3.診断を受けられた時、何を考えましたか？

A.まさか自分がかかるとは思っていなかった。

Q4.生活の中のこだわりを教えてくださいませんか？

A.「特にこだわりはない。」

ドーナツがたくさん置いてあるためお好きなのか伺うと

「ドーナツは甘くて食べやすいから」

Q5.好きな事、好きなものは何ですか？

A.ゴルフ。スコアは90くらい。遊びに行くことが好き。犬を連れて海に泳ぎに行ったり、茶臼山や岩屋堂など山に行ったり。アウトドア派。ハイキングも好き。犬はダルメシアンの子を飼っていた。

いろいろ質問をさせて頂きましたが、発声しづらい時はフィンガーボードを使ってお答え頂きました。

伝えたいことが伝わることは素晴らしいですね。



スタッフの声



K.S さん：介護士：ケアコール野並：2年目

私はご利用者様とコミュニケーションをとる時に大切にしていることがあります。笑顔を忘れずに相手の立場にたち、対応やお声がけすることです。コミュニケーションをとる時に、フィンガーボード・ファインチャットを使用することがありますが、初めての経験で学ぶことが多くあります。初めて使用した時には不安がありましたが、コミュニケーションが取れた時には喜びがありました。どのようにうまく対応ができるか、一人で考えるのではなく周りとも相談をし、できる限りの歩み寄り、寄り添い、対応するように心掛けています。

～トピックス～

フィンガーボード（穴あき文字盤）

通常の文字盤とは違い、ボードに指を通すことができるようになっています。両面（話し手面聞き手面）の同じ位置に同一のひらがなや数字、記号 又はイラストを表示しているので話し手、聞き手両方から交互に文字孔を指差すと簡単な文字会話ができます。多系統萎縮症など振戦の強い疾患の方に使いやすいと好評です！

